対象者

福祉施設職員、障がいのある人の新しい仕事づくりをしていきたいと考える人。また、テーマに関心のある学生、NPO職員、デザイナー、福島のコミュニティの支援員など。

お申し込み方法

参加お申し込みフォームに必要事項をご記入いただき、下記お申込み先までFax、E-mail、ウェブサイトまたは郵送でお申し込みください。

申し込み締切

2013年10月11日(金)
定員(30名)になり次第、締め切らせていただきますので、早めにお申し込みください。

事務局、お申込み先・お問い合わせ先

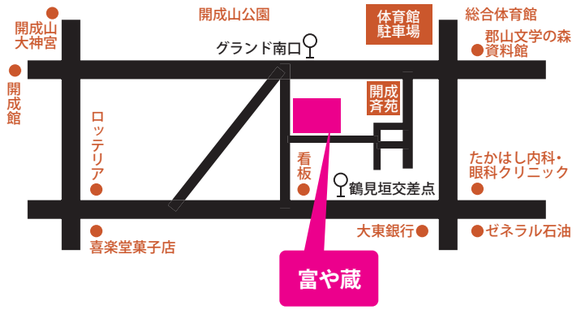
NPO法人 エイブル・アート・ジャパン
〒101-0021
東京都千代田区外神田6-11-14アーツ千代田3331　#208
TEL. 03-5812-4622　FAX. 03-5812-4630
Mail:aaj@ableart.org.jp　URL: www.ableart.org

※やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。
※お預かりした個人情報は、本講座の受付事務においてのみ使用させていただきます。

会場・地図・アクセス

「創空間　富や蔵」
〒963-8851 福島県郡山市開成2丁目4-15

敷地内で「自然食のお店　とみや」を営業するかたわら、昔の酒蔵をイベントホールに改築して市民に開放している場所です。



車をご利用の場合
- 駐車場あり
- 高速道路郡山南インター、又は郡山インターから会場まで約30分。

バスをご利用の場合
- 駅前バスプール「11」番乗り場から『麓山大槻行き・麓山休石行き・麓山山田原行き・麓山御霊櫃行き』のバスに乗り、グランド南口で下車、徒歩約5分
- 駅前バスプール「11」番乗り場から『池ノ台芦の口下守屋行き・池ノ台静団地行き・コスモス循環池ノ台回り』のバスに乗り、鶴見坦交差点で下車、徒歩約5分

つながり＆しごとおこしワークショップ　2回連続講座

参加お申込みフォーム

ご記入の上、右記の方法でお送りください。　FAX.03-5812-4630　URL:www.ableart.org(ウェブサイトからもお申込みできます)

お名前[ふりがな]　　所属先・活動内容

ご住所[ご自宅以外の場合は、団体名までお書きください]

TEL.　　FAX.　　E-mail.

事前アンケート受け取り方法[選択してください]　※アンケートの詳細は中面をご覧下さい。
□E-mail.　□FAX.　□郵送

10月16日(水)の交流会[選択してください]
□参加　□不参加

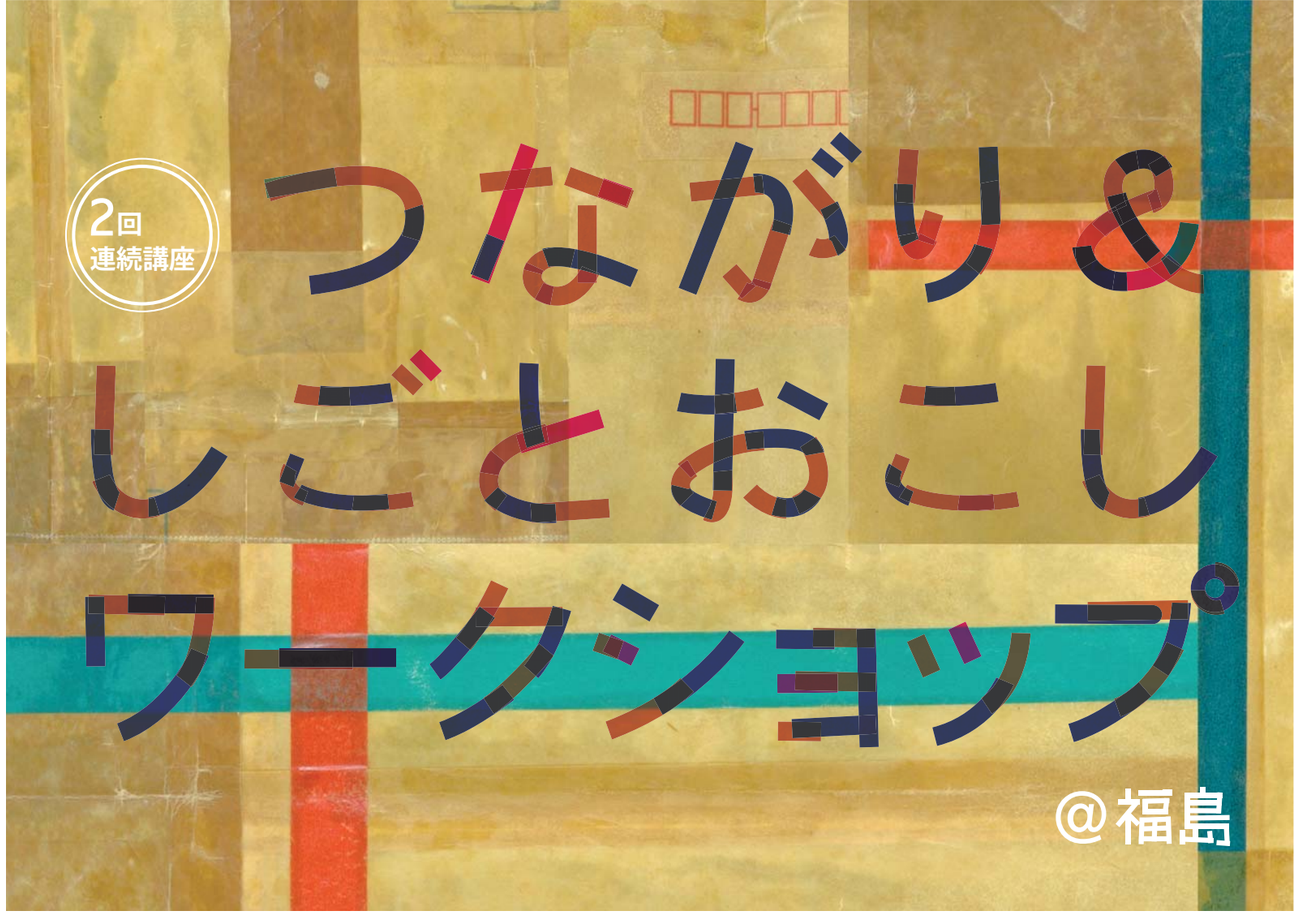
この講座をお知りになったきっかけ、場所

特別講座「つながり×しごとおこし　オープンセミナー」

福島県の福祉施設は、協働受注・協働労働に対して高い意欲をもっています。「福島型」ともいえる、連携型のものづくりの具体的な動きを特別プログラムとしてセミナーで紹介していきます。

- **日　時**:2013年12月5日[木]10:00～16:00(受付9:30)
- **会　場**:二本松市市民交流センター　多目的室
- **参加者**:100人
- **対象者**:協働受注・協働労働などのネットワーク型の事業開発やマネジメントに関心のある方。これらの活動に関心のある仮設のコミュニティの方たちを含む。

▼「居場所をつくり、仕事をつくる　ふたば製作所」JDF被災地障がい者支援センターふくしま(郡山)
▼「クリエイターとつくるプロダクト」コーヒータイム(二本松市)、須賀川共労育成園(須賀川市)、えんどう豆(南相馬市)、MUTE(東京)ほか



創造するちからを、仕事に。

これまで余暇活動のひとつとしてみなされてきた障がいのある人たちの表現活動に、芸術的価値が認められ、アートと評価される一方で、最近はデザインと結びついた商品化やモノづくりが注目されています。

福島県においては、モノづくりや仕事づくりへの希望は大きく、実践的な方法で講座を開催することといたしました。

このたび開催する「つながり＆しごとおこしワークショップ」は、少人数制・ワークショップ方式の2回連続講座です。講師は、事前のアンケートを通しみなさんの課題解決の糸口を探り、また参加者は講座で学んだことを施設にフィードバックしながら、より具体的なモノづくりの企画やアイディアをくみたてていきます。また各回の講座には、特別ゲスト1名を東京/大阪からお招きしました。福祉施設発のモノづくりに関する学びだけではなく、障がいのある人たちとともに、何を目的とし、何をかたちづくっていくのかをともに考える、つながり＆しごとおこしのための機会ともなります。

みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

会　期
第1回　2013年 **10月16日[水]** 10:00～16:00(受付9:30)
第2回　2013年 **11月14日[木]** 10:00～16:00(受付9:30)

会　場　「創空間　富や蔵」　〒963-8851 福島県郡山市開成2丁目4-15

定　員　各回30名(申込み先着順)
註:連続講座は2回でひとつのパッケージになります。同一の方の連続参加がのぞましいですが、難しい場合は同一団体で2回を受講していただくようお願いします。

参加費　**無料**

主　催:AAR Japan[NPO法人　難民を助ける会]
共　催:JDF被災地障がい者支援センターふくしま、NPO法人エイブル・アート・ジャパン
助　成:アクセンチュア株式会社

ABLE ART JAPAN
AAR Japan Association for Aid and Relief, Japan

プログラム

つながり＆しごとおこしワークショップ　2回連続講座

第1回　2013年 10月16日［水］　10:00～16:00 郡山市「創空間　富や蔵」

9:30～10:00　受付

10:00～10:30　主催者あいさつ、オリエンテーション

10:30～12:00　ゲストトーク　高野賢二（クラフト工房La Mano施設長）

クラフト工房La Manoは東京都町田市にあります。障がいのある人たちが染め、織り、アートに特化して活動しており、高い品質の商品は全国に流通しています。福島県二本松市出身の染色家でもありめざましい活動をしているLa Mano施設長 高野賢二さんをお招きし、活動の全体像をトータルに学びます。

12:00～13:00　昼休み（会場内で持込飲食可）

13:00～14:30　ワークショッププログラム①
「自分たちのモノづくりの課題を整理しよう」　加藤未礼（コミュニケーションデザイナー）

他の福祉施設の事例を参考に、福祉施設のモノづくりで大切にしたい考え方の基礎を学び合います。

14:45～16:00　ワークショッププログラム②
「想いを伝えるモノづくり」　前川亜希子（デザイナー）

商品化までの流れを知り、自分たちの想い（コンセプト）をカタチにする方法を学びます。

17:00～19:00　交流会：参加費2,000円　＊詳細な会場は当日受付でご案内いたします。お楽しみに!

ご協力ください　～ワークショップを実りあるものにするために

①参加申し込みをした方には順次アンケートをお渡しし、開催前までに提出していただきます。施設の現在の活動、商品、課題などに関するものです。これを講師が事前に共有し、みなさんの課題にこたえられるよう準備をすすめます。
②1回目の講座終了後に、課題があります。学んだことを施設にフィードバックし、より具体的な成果をもとめていくためのものです。

第2回　2013年 11月14日［木］　10:00～16:00 郡山市「創空間　富や蔵」

9:30～10:00　受付

10:00～11:00　ゲストトーク　板垣ユカリ（髙島屋）

髙島屋さんは2008年より、障がいのある人たちの商品を積極的に店舗で紹介・販売してきました。また、施設のスタッフ向けに学びの機会を提供しています。板垣ユカリさんには長年、福祉施設の商品にむきあってきた立場から、福祉施設の商品の魅力、商品を市場に流通させるために知っておきたいこと～価格の考え方・品質表示、などを語っていただきます。

11:00～12:30　ワークショッププログラム③
「商品の魅力を伝えよう」　加藤未礼（コミュニケーションデザイナー）　前川亜希子（デザイナー）

課題の企画書をもとに、他者に想いや魅力が伝わるためのグループワークを行います。

12:30～13:30　昼休み（会場内で持込飲食可）

13:30～15:00　ワークショッププログラム④
「アウトプットの視点」　加藤未礼（コミュニケーションデザイナー）　前川亜希子（デザイナー）

企画から商品化までと、その商品の宣伝方法の基本、そのためのツールづくりを学び合います。

15:00～16:00　まとめ（60分）　コーディネーター（連続2回）柴崎由美子

表紙・中面のテクスチャは、
福島県双葉郡のみんなで立ち上げた
「ふたば製作所」の“つながりぼかばん28”
より使用させていただきました。

講師プロフィール

加藤未礼（かとう・みれい）　コミュニケーションデザイナー、おおきな木　代表
1974年生まれ。東京板橋に育ち、板橋に現在も住む。バンタンキャリアスクールに通い、雑貨を学ぶ。10数年の雑貨セレクトショップでの販売経験を生かし、おおきな木を2008年に開業。コンサルタント、ライター、グラフィックデザイナー、イラストレーターなどのとの共同作業をプロジェクトごとにチームを結成し福祉施設の現場に入る。
「授産品を商品に!福祉ショップをセレクトショップに!福祉喫茶をカフェに!バザーをマルシェに!作業所を工房に!」
おおきな木は、福祉が社会の真ん中で、人を幸せにするモノやコトや場をプロデュースし、誰もが「自分らしく」いられる世の中をつくることに挑みます。

前川亜希子（まえがわ・あきこ）　デザイナー
2001年、明星大学日本文化学部生活芸術学科染織専攻卒業後、繊維会社にてアパレルブランド「anetmonet」を立ち上げる。5年間チーフデザイナーを務めた後、デザイン制作会社に転職。イベント企画、商品開発、グラフィックデザイン、イラスト、ウェブ制作など幅広く活動し、2013年5月に独立。エイブルアート・カンパニーのオリジナル商品開発や、東北の福祉施設の商品リニューアルなどに携わっている。

高野賢二（たかの・けんじ）　クラフト工房La Mano施設長、NPO法人La Mano理事
1976年生まれ。福島県二本松出身。学生時代に東京で染色を学ぶ。2000年クラフト工房La Mano入社。染色担当の指導員として染色の技術を生かした物づくりを模索。手ぬぐいを使った鯉のぼりや手ぬぐいの販路開拓や商品の安定に努める。
また2006年よりアトリエ（アート活動）を本格的に作業に取り入れ、アート・クラフト・デザインの融合した商品制作を図る。

板垣ユカリ（いたがき・ゆかり）
1989年髙島屋大阪店入社、リビング用品販売担当、2000年泉北店宣伝部担当、2003年大阪店宣伝部担当、2006年ＭＤ本部関西・食器担当バイヤー、2009年店リビング・サービス営業部フロア計画統括担当、2013年大阪店リビング・台所、家電売場シニアマネージャー兼ストアバイヤー

コーディネーター
柴崎由美子（しばさき・ゆみこ）　NPO法人エイブル・アート・ジャパン事務局長/エイブルアート・カンパニー東京事務局
宮城県仙台市生まれ。1997年より奈良・たんぽぽの家で障がいのある人たちの表現活動にかかわる。障がいのある人とともに、社会に対して新しい価値を提案するプログラムや仕組みは何か、絶えず探求し実践していくことをライフワークとしている。
障がいのある人とコミュニティのための「たんぽぽの家アートセンターＨＡＮＡ」（奈良）のディレクター（2004年4月～ 09年3月）を経て、障がいのある人のアートを社会に発信し仕事につなげる「エイブルアート・カンパニー」本部事務局（2007年～）。2012年　NPO法人エイブル・アート・ジャパン事務局長（2012年～）。